

関東ふれあいの道を歩く⑧秩父盆地を眺めるみち

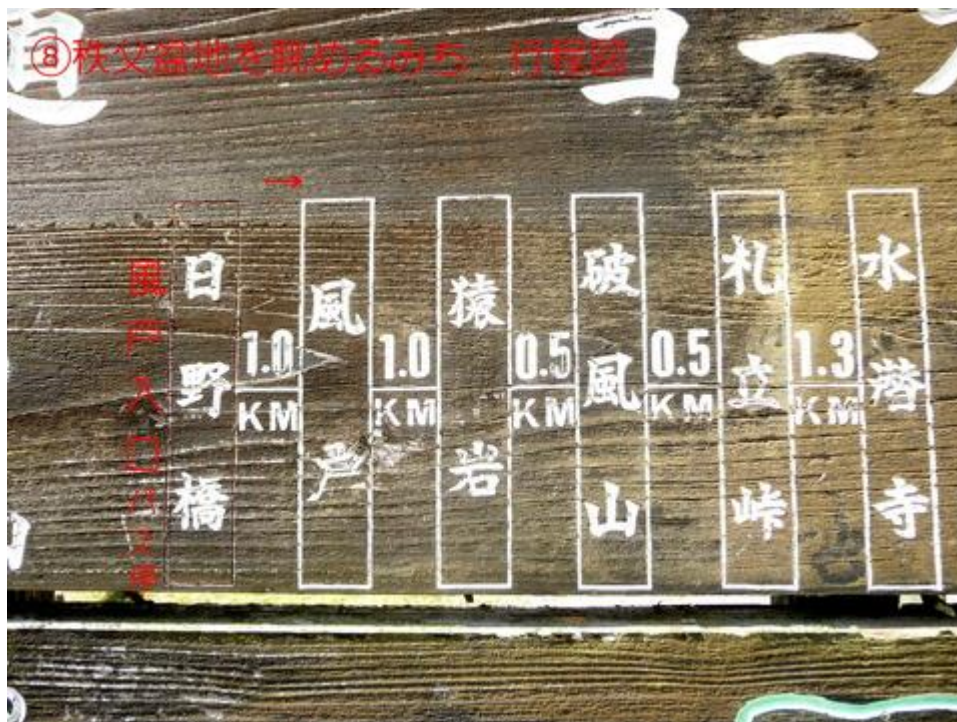
2020年10月15日 池内淑皓

2020年9月22日（火・祝日）国はGO TO トラベルを強く推進し始めた、私もこのキャンペーンに便乗して秩父のホテルに一泊しながら二日間、関東ふれあいの道を歩く事にした。今日は「⑧秩父盆地を眺めるみち」がテーマの破風山に行く。（旅行会社等を経由してGO TOトラベル対象ホテルを予約すると、35%割引となる）



(首都圏自然歩道連絡協議会)

「⑧秩父盆地を眺めるみち」概念図



コース図



横浜から西武秩父行きの特急（指定席券 1260 円）に乗り、秩父鉄道に乗り換えて「皆野駅」に向かう



皆野駅前から皆野町営バスに乗り、約 20 分程で破風山登山口の「風戸入口バス停」に着く



バス停前には、関東ふれあいの道コース案内板があるので、確認してから出かけよう



日野沢川を日野橋で渡って左折、山に向かって歩き始める



出だしからなかなか素敵な林道で、軽井沢を散策している気分で森林浴を楽しむ



風戸集落入口に「鏡肌」の史跡案内があった。

1億5千万年前、ジュラ紀の岩肌であると案内にある、断層で岩がずれて擦れ、鏡面になったと言う



やがて風戸の集落と別れて山道に入る



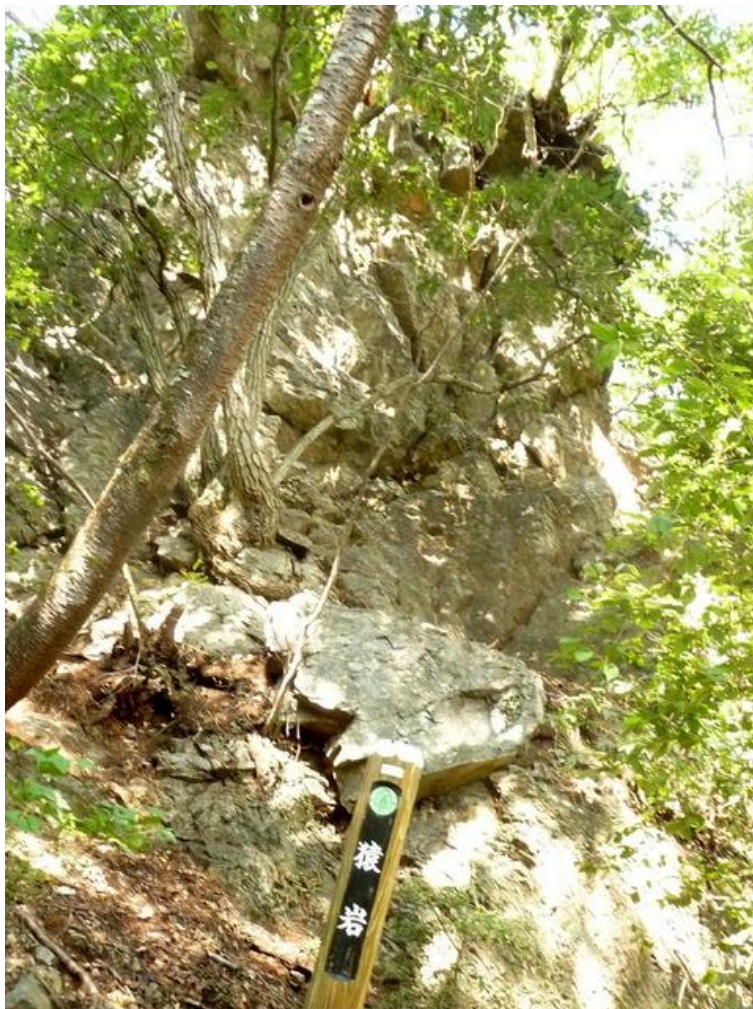
山が低いためか、尾根への取りつきもおだやかな巻き道となっている



尾根に出る



ここも素敵な尾根道で、杉が太陽光を遮ってくれるから、涼しい



「猿岩」 ジュラ紀（秩父中・古生層）の固い岩の塊、猿の形をしている
1億5千万年前は恐竜が抜港していた時代である。暖かく遠浅の海は放散虫、珊瑚虫等が育ち
秩父中・古生層を成す（秩父チャート）。地殻変動で隆起し武甲山、破風山、伊豆ヶ岳等の山
並みを形成した、秩父のセメント、石灰岩は放散虫等が巖と成したものを採掘している。



破風山の頂上直下は少し荒れた登山道となっている



「破風山（626m）」三等三角点が立つ。独立峰で秩父盆地在がよく見渡せる。記念に一枚



秩父盆地、皆野の町と遠方蓑山高原



下山は杉林と雑木の中を北に向かう



至る所に秩父中・古生層の岩が露頭している硬い（石灰岩質）



当然恐竜が住んでいた時代であるから岩も珊瑚虫、放散虫の化石が見られる



一枚岩の巨岩



「札立峠」33番菊水寺から34番水潜寺へ通り抜ける、秩父34箇所めぐりの巡礼道で、昔の道標が残されている



桜谷 国神村 上日野沢方面行と読める



峠からの下りは道が少し荒れていて、先の台風の影響が残る



藪も倒木も行く手を阻む



突然粋な道標に会う、地藏様のすました顔がいいね！



「水潜寺」秩父 34 番札所 日本百観音結願寺でもある



西国 33 観音、坂東 33 観音、秩父 34 観音の結願寺





水潜寺前（札所前バス停）から皆野行きバスがある



GO TO トラベルを利用して今宵は秩父駅前のホテルに投宿する

[参考タイム] 皆野駅（10：28）→風戸入口バス停（10：45）→風戸集落（11：25-11：35）→猿岩（12：10-12：15）→破風山（12：25-12：35）→札立峠（12：55）→水潜寺（13：35）→札所前バス停（13：40-14：05）皆野駅（14：20）

この項完

関東ふれあいの道を歩く（埼玉）⑬高原牧場を通るみち に続く